



文化・芸術研究センター研究成果報告書 | 配分研究費：1,925千円（令和2年度～令和4年度）

伝統建築・伝統工芸の技術と文化の継承に関する研究

目的・概要

伝統的な建築・工芸の技（技能・技術）とその背景にある文化・芸術を、匠（技能者）と協働して継承・創造するための研究を推進する。各分野の現状調査や実践的なワークショップ等を通じて、匠・研究者・デザイナーが共通言語を得て、ものづくりの一員となり、日本の技術と文化を未来へつなぐための地域における教育・研究活動の拠点を目指す。

期間

令和2年4月1日～令和5年3月31日

研究担当者

デザイン学部	デザイン学科	准教授	新妻 淳子（研究代表者）
デザイン学部	デザイン学科	教授	山本 一樹（令和2～3年度）
デザイン学部	デザイン学科	教授	藤井 尚子
デザイン学部	デザイン学科	准教授	荒川 朋子
デザイン学部	デザイン学科	准教授	平野 英史
デザイン学部	デザイン学科	講師	小田 伊織
デザイン学部	デザイン学科	講師	池田 泰教（令和2～3年度）
文化政策学部	文化政策学科	教授	曾根 秀一

スケジュール

令和3年7月3日収録／8月3日～12月末配信

令和3年7月22日～25日

令和3年12月5日

令和3年12月12日

令和3年12月13日

令和4年5月～9月

令和4年7月16日～18日

令和4年4月～5年3月

オンライン公開講座第一部「伝統建築の技～松ヶ岡の建築から」第二部「伝統建築の技の継承」

国登録有形文化財「旧田代家住宅」学生作品展覧会「てこころ展」領域専門演習（匠）☆

学内講演「予想外だった経糸・緯糸-作品が教えてくれる次にすべきこと」学内ワークショップ

「日本建築と和釘のヒミツ！和釘を作って、和釘を使う」

学内講演「遠州織物のレシピ」

旧田代家住宅活用プロジェクト（地域連携演習）☆

国登録有形文化財「旧田代家住宅」学生作品展覧会「鹿の子展」領域専門演習（匠）☆

研究成果まとめ

研究成果

1. 教育

① 教育プログラムの検証

- ・学内講演「予想外だった経糸・緯糸-作品が教えてくれる次にすべきこと」学内ワークショップ「二重織 ピックアップワークショップ」鈴木純子（武蔵野美術大学准教授）
- ・学内講演「遠州織物のレシピ」濱田美希（古橋織布株式会社）

② 文化財建造物の教育普及と展示活用の共同研究（浜松市）（スケジュール☆参照）

③ 日本の伝統文化を未来へつなぐ教育

- ・ひらめき☆ときめきサイエンス「日本建築と和釘のヒミツ！和釘を作って、和釘を使う」（JSPS 科研費21HT0117）実施代表者：新妻淳子、講師：白鷹興光（鍛冶）

2. 現状調査・研究・発表

① 伝統建築の技と継承に関する公開講座

- 講演「伝統建築の技～松ヶ岡の建築から」講師：浜野豪（京都伝統建築技術協会）
- トークセッション「伝統建築の技の継承」講師：浜野豪・曾根秀一・新妻淳子

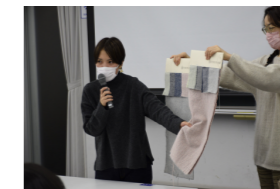
② 伝統建築、技術継承に関する現状調査

3. 研究推進

① 静岡文化芸術大学研究紀要vol.23、2022年

- 新妻淳子・藤井尚子・荒川朋子・平野英史・小田伊織「伝統建築・伝統工芸の技術と文化の継承に関する匠領域の教育・研究」

② Work Life しずおか第38号、2023年 曾根秀一「日本のものづくりを支える教育の課題」



今後の研究成果の還元方法

1. 教育

- ① 領域専門演習（旧田代家住宅学生作品展覧会）令和5年10月7日～9日
- ② 地域連携演習「旧田代家住宅の七夕まつり」令和5年7月23日
- ③ ひらめき☆ときめきサイエンス「日本建築のヒミツ！～静岡浅間神社の古文書・建築・匠の技から発見！」（JSPS 科研費23HT0107）令和5年7月30日

2. 現状調査・研究・発表

- ① 日本伝統建築（最終回：伝統建築の技の継承と担い手育成の現状）令和5年7月26日
- ② 公開講座「道具が語る日本の文化とものづくりの技術」の開催 令和5年10月1日

3. 研究推進

- ① 地域連携事業（地域連携演習「見付宿まちな魅力創出プロジェクト」ほか）
- ② 共同研究